

撥水・花粉リリース剤 パラファイン DP-G (PARAFINE DP-G)

パラファイン DP-G は、スプリングコートやジャケット等に撥水性と花粉リリース性を同時に付与出来る加工剤です。

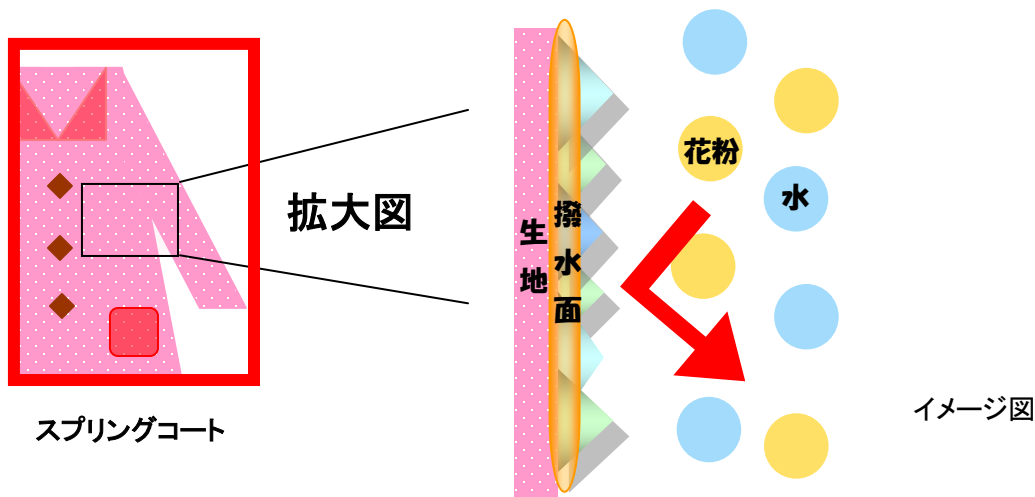
従来技術は、花粉リリース性を与えると撥水性の低下が生じ、撥水性を重視すると花粉リリース性が出ない等、非常に困難な加工で、素材の高密度化やフィラメント化を図り、限られた素材にしか応用出来ませんでした。そこで、様々な繊維に簡単に撥水性と花粉付着防止性を付与出来るように開発した製品です。

天然繊維や合成繊維など素材に関係なく、高い撥水性能と花粉が付着しにくく、付着しても手で軽く叩く程度で脱落し易い性能を付与する加工です。

通常の最終工程(パディング法)で処理出来、特別な装置の必要はありません。

花粉付着防止メカニズム

繊維表面をマクロ的にはプレーンに、ミクロ的にはナノレベルで微小な凹凸を付与して、花粉と繊維表面の接触面積を微小化しています。



性状

主成分 : PFOA フリー
 : 特殊フッ素化合物
外観 : 白色乳濁液
イオン性 : カチオン
p H : 4±1

標準使用量及び使用方法

パディング法—パラファインDP-G 5-10% soln.
予備乾燥後、160℃×2分程度の
熱処理を行ってください。

特徴

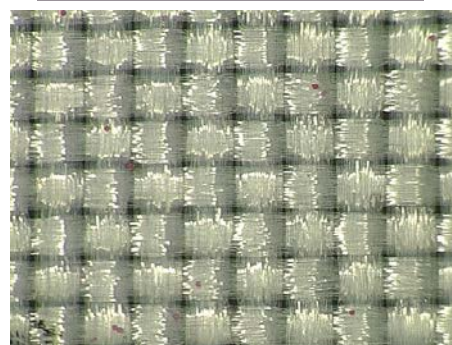
1. 撥水性と花粉リリース性を同時に付与します。
2. 天然繊維や合成繊維など素材に関係なく機能を付与します。
3. 特別な装置などは必要なく通常の最終工程(パディング法)で加工出来ます。

花粉付着状況(マイクロスコープ150倍) 試験布:ポリエステルタフタ

従来C6フッ素撥水剤:減少率28%



DP-G処理布:減少率85%



試験方法:生地には花粉を均一に付着させた後、所定の振動で花粉をリリースする。

評価

加工条件

%soln. パディング処理

絞り率 ポリエステルタフタ:45% 綿100%:68% T/Cブロード:83%

乾燥 ポリエステルタフタ、T/Cブロード 110°C × 2分
綿100% 110°C × 3分

熱処理 160°C × 2分

ポリエステルタフタ

		1	2
パラファイン DP-G		5	
従来C6フッ素撥水剤			5
撥水性(級)	初期	5	5
	HL-10	2-3	4-5
花粉リリース性 減少率(%)	初期	85	26
	HL-10	80	24

綿100%、T/Cブロード

			1	2
パラファイン DP-G			10	
従来C6フッ素撥水剤				10
パラキヤット PGE			1	1
撥水性(級)	綿100%	初期	5	5
		HL-10	2-3	2-3
	T/C ブロード	初期	5	5
		HL-10	3	3-4
花粉リリース性 減少率(%)	綿100%	初期	85	28
		HL-10	75	24
	T/C ブロード	初期	96	62
		HL-10	84	34

撥水性試験 : JIS L-1092 スプレー法
洗 濯 : JIS L-0217 103法(アイロン)

注意事項

1. 加工される繊維により、性能が異なりますので、予備試験の上、御使用ください。
2. アニオン性の製品との相溶性は、予め御確認の上、御使用ください。

ここに記載された資料内容は、細心の注意を払って行なった社内試験に基づくものですが、御使用に際しましては十分な予備試験の上、御使用下さい。

取り扱いに関しましては MSDS を御参照下さい。